

## 平成25年第5回定例教育委員会

開催日時 平成25年5月28日(火)午後1時30分～3時04分

開催場所 輪島市文化会館401会議室

出席委員	委員長職務代理者	榎木孝則
	委員	沢田悦子
	委員	石本昇藏
	教育長	吉岡邦男

### 事務局説明員

教育部長兼庶務課長	西畑賢一
学校教育課長	春田安子
生涯学習課長	宮下敏茂
生涯学習課参事	古谷里美
文化課長	上加政伸
市立図書館長	柿本敦子
市立門前図書館長	浦西武司
輪島漆芸美術館事務局長	華岡一哉
庶務課主幹兼庶務係長	茶花隆一

### 議事

#### 1、教育長諸報告

#### 2、議案の審議

議案第34号 平成25年第2回輪島市議会定例会提出予定案件について

議案第35号 平成25年第2回輪島市議会定例会提出予定案件について

議案第36号 輪島市女性センター条例施行規則の一部改正について

#### 3、報告事項

#### 4、その他報告

## 5、その他

### 会議録

委員長 第5回定例会開催通知のご案内を申しあげましたところ、ご出席をいただき、まことにありがとうございます。  
職務代理者

開会に先立ちまして、教育委員の欠席についてご報告いたします。小橋議長が、家事の都合により本日の会議を欠席いたします。

ただいまから平成25年第5回輪島市教育委員会定例会を開催します。

まず、本定例会の会議録署名委員に沢田委員を指名します。

沢田委員 はい。

委員長 それでは、本日の会議に入ります。

職務代理者 教育長諸報告について、教育長より報告願います。

教育長 報告いたします。

レジュメをごらんになられればわかると思うんですが、この4月26日から5月28日まで、大半を学校訪問、指導主事計画訪問等に充てております。そこで、かいつまんで学校訪問についての感想等を言います。

どの学校もことしは授業改善というものを、子供の学力向上につながるものとして、共通認識として捉えるということが特徴かなと。そしてこの授業改善というもの、それが家庭学習とどう結びつけるかというところを考えられておられるというふうに感じました。

そして、補充授業というものを各学校ごとにそれぞれがいろいろと考えておられて、俗に言う、俗に言うといったらおかしいんですが、何々会議とか名前をつけて10分なり15分なり、休憩時間の中に充てる、そういうシステムをとっておられるということが目につきました。

それから、研究授業にかかわって、模擬授業というものがとられてい

る。これは、ことしの大きな傾向かなど。先生方が授業研究をなさる前に、先生方が生徒になって、生徒役になって、模擬授業をして、その中でああするこうするというのをやられるということでもあります。

それから、学校図書館の司書補の力というものがかなり子供たちに影響するんだということをおられましたので、この図書館司書等について、もう少しという声も聞かれたところであり、そのあたり、また委員会としての今後を考えていかなければならないだろうというふうに思います。

きょうの全員協議会の中でも、学校図書館司書補がどのような形で活躍し、そしてその成果が上がっているのか。例えば、貸し出し冊数がふえたとか、そういったことも質問されておりましたので、今後、委員会として、この司書補の各校1名配置ということ、将来、念頭に入れながら、やっていかなければならないのかなというふうに思っております。これらは学校にかかわることでもあります。

4月26日、門前中学校、私、課長と訪問したのは、ここの門前中学校に金沢事務所から新しく校長先生が見えられたということで、金沢の教育事務所の所長が保護者として心配したのかなというふうに思っております。鶴巣小学校も訪れておられるということでもあります。

それから、ずっと下がって、5月9日に、海士町の自治会長の田井さんが来られました。ことしは舳倉島で夏季分校となる児童がいないということでありまして、23年度、24年度と児童が5名、4名といたわけですが、ことしは人がいないと。理由が、やっぱりここにおいて友達といたいということが主な理由であります。それから、親の方も、やはり学力ということを見ると、子供たちの中で学ばせるという、そういうことになっているのかなというふうに話をされていかれました。

それから、戻りますが、5月8日に、第1回の中学校開校、輪島中学校開校準備委員会が開かれて、開校に向けてそれぞれ小委員会に分かれて話し合いをしているところであります。これは24年度に引き続き、制服、通学安全、校歌校章、交流学习の各準備委員会を進めるというところであります。

きょうが、三井の地区へ行きまして、通学事情のことで地域の人と話し合いをしております。

そして30日が、第2回目の小委員会、開校準備委員会ということになっております。

めぐりまして、5月20日、輪島市奨学生選考審査委員会が開かれました。定員が、定員といいますか予算枠が30名なのでありますが、新しい方が6名、奨学生として申し込まれる。そして継続が19名ということでございまして、この審査委員会の中では合わせて25名を、新規参入6名と継続19人という形で25名、奨学生として決定したところであります。

それから21日、輪島高校で中学校、高等学校が連携しながら教育学力向上連絡会、ことしの県の平均が5教科で239点と、語呂合わせでいうと、大変不作であるということで、低いわけであります。その平均点を超えた子供が輪島高校で32名だったか33名でしたか、パーセントでいうと3割ちよっとというところではございましたが、普通科ですね。ここのところが大変問題でありまして、今後、今後のことを考えながら、中学校での学力を上げていかなければならない。特に英語、数学が悪いということで、英語について、今後、どう取り組むかということで、話し合いがなされたところであります。

きょうから、新聞に出ていましたとおり、輪島市教委として、中学校で、英検に取り組ませ、英語についてひとつ資格を取るつもりで、励みとなるように、取り組んでいきたいということでございます。

今、きょう、輪島高校の校長先生いらっしやいまして、輪高から小学校のほうに、昨年同様、数学と理科というものについて、理数に対して興味を持たせる授業を行いたいということで、ぜひお願いしたいと。

それで私のほうから、それも大事だろうけれど、歴史について教科書にない、そういう歴史の話を、ぜひ、する者がいないのかということで、輪島高校に、長いこと予備校にいて、大変、歴史の裏話等を知っている先生が、それを派遣しようということで、ことしは数学と理科と、そして社会、歴史について小学校で出前授業をしてくださいということが決まったところであります。

次をめくりまして、5月24日、公益財団法人輪島漆芸美術館理事会が開かれました。

この日、1時半から、わんじまくんという、皆さんのお手元にあるかと思うんですが、このゆるキャラが、大変な人気であります。おわんの、このこれが、どうも能登半島をイメージして、だんだんこう小さいものが右のほうへ傾いていたのが本来のデザインなんだそうですが、市長のほうから、それでは潰れてしまう、倒れてしまうということで、少し左のほうへ傾けたそうではありますが、まあ、そういうことでございます。

きょうは、28日、市議会も、先ほど議員全員協議会がありまして、統合中学校の部活動は今後どうなるのかという質問等がございました。課長のほうで答弁いたしました。

以上であります。

委員長 教育長のほうから報告がありました。これにつきまして、何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

職務代理者 学校で補充授業に精力的に取り組んでおるといってお話聞きましたけれど、もう少し具体的にどんなものがあるんですか。

教育長 これは、学校によってそれぞれ違うわけでありまして。要するに、自分の学校の課題となるところ、基礎力である計算とか漢字とか、そういうものにも力を入れるところもありますし、それから、個別に対象として、この子供について、算数なら算数が弱い、その子供に補充授業をするなどさまざまなんですね。中学校へ行きますと、一斉に同じもので、教科でない先生だけども、その教科にもあたっているなどさまざまです。これについては、また、委員さんお集まりの中で、よしあしと言いますか、今後の夏の訪問に備えて、この学校でこういったことをやっているんだということをお知らせしたいと思えます。

委員長 学校訪問等を楽しみに参りたいと思えます。

職務代理者 どうぞ。

石本委員

教育長、今、小学校と中学校は全部、学校訪問しておいて、昨年と比べてことしは、教育長が感じたこと、去年よりいいとか悪くなっているとか、何校か回っていましたが、教育長の意見をちょっとお聞きしたいなど。

教育長

校長及び教頭、教務主任等の連絡といいますか、口車を合わせるというか、そういうことが大変よくできていたように思います。

これはいいか悪いかは別として、校長の教育ビジョンというものは若手にまできちんと浸透しなければならないですね。そういう意味から言うと、いい傾向なのかなど。つまり、ことしは、うちの学校の目玉商品はこれだという、そういうものが若手にもベテランにも中堅にもそれぞれにしみ込む、漬物でいうと下まできちんと漬かるというような、そういうふうな形がとられていたのかなど。

それから、中学校で、名前挙げますと、まだ上野台中学校あたりで堂々と眠る子がいると。それから松陵中学校でも見られまして、このことについて校長先生に申しあげましたところ、他の子供への妨害になることを考えると、まあ、やむを得ないのかと。個別には注意はしておると。だけれど、堂々とぐっすり寝ているのがおります。目を開けて寝ているものもおります。いろいろありますが、そういうことが課題なのかなど。

これは石本委員も訪問されたとき、見られたと思うんですが、そういう意味で、全部の生徒がやはりきちんとという、ベクトルがきちんと向いているかという、必ずしもそうではない。学校によって差があるかなどいう。

門前中学校においては、校長先生かわられて、何か新しく校長が入ったなど、外に出ていた子供たちも写生していたんですが、なかなか生き生きとして見受けられましたし、その学校学校の空気というもの、校長がある程度つくっていくのかなどということも感じたところではありますが、今後また学校公開等がございますので、委員の皆様、行かれて、見られればいいかなどというふうに思います。

先般、25から26は県の基礎学力調査等がございまして、自己採点等を見たところ、小学校はまあまあというふうな、中学校はやはり下がったと、そういったところが見られる。これについても、後ほど、委員の皆様へ他の市町との比較の中で検討いただいて、全体として発言材料としていただければというふうに思います。

委員長 沢田委員。

職務代理者

沢田委員 先ほど、統合中学校の部活動について質問があつて答えたという、やはり私も何か保護者の方がどうなるのかなというお話を聞いていましたので、どのように対応されてお話しされたのかなというのを、ちょっとお聞きしたいなと思います。

委員長 教育長。

職務代理者

教育長 これは、課長のほうが詳しいと思います。

委員長 春田課長。

職務代理者

学校教育課長 答弁の中では、まず、今、開校準備委員会が開かれて、今月2回目なんですけれども、その中では、まず、部活のほうよりも先に交流学習のほうをということで進められています。

そのために、これから以降、部活動についてはゆっくりと話し合っていく。そして、新しく統合された中で、お話をしていく部分というのもありますので、まず、今の段階ではわからないという。一生懸命今後進められていくというのは一つです。

それから、数のことなんですけれども、中学3校ありますよね。となる

と、例えば、チーム戦とかということになると、非常に輪島市内で大会開かれるということは非常に少なくなるかなと思うので、ここは2市2町の大会でということも見据えて、中体連のほうには働きかけていきたいというふうなことを考えております。

委員長 教育長。

職務代理者

教育長 2市2町に決定するというだけでなく、そういうことも見据えてという、そういう意味なんです。例えば、穴水町は中学は1校ですね。ところが町ではなくて鳳珠郡としてやらなければいけないわけですね。鳳珠郡というのは、要するに能登町、そして穴水町で、そうすると、かつて45校、中学校があったわけですが、今、来年になると12校ですよ。そうすると、やはりこのことは中体連の中で考えていかなければならないということだろうと思います。

輪島3校で、3人でやっておたつてどうにもならないので、やはり、これは2市2町の大会と。陸上なんかは完全に、マリントウンで2市2町で集ってやるわけでありますので、そういうことからいうと、中体連の中で中学校が集まる中で、どのようにしていかなければならないのかといったことも考えていかなければならないというふうには思っているんですけども、決定したわけではないです。

サッカー等のことも上がっておりますし、またこれ、中学校建設等にもかかわって、体育館等の建設もありますので、交流学习の委員会で十分意見を聞いて、どのぐらい人数がいるのか。

サッカーについては、石本さんもお存じのとおり、小学校ではある。そして肝心の伸び盛りのときの中学校の部分が抜けている。このことは、これは放っておけないことで、そうすると、輪島市としても、やはりそのことを考えていかなければならないと、こういうことになるかなというふうには思っているんです。

ただ、そのサッカーも中学の大会というのは、クラブ持っている学校少



ないんですね。これについては、どうなるのかということ、県の大会の中で活躍しても、多方面にわたって、これは中学校の校長の部会でありますので、小委員会の中で話し合いをしていきたいというふうに思っています。

委員長

ほかにございませんか。

職務代理者

それでは、次に移りたいと思います。

次は議案の審議についてですが、今回の事件は、議案第34号から議案第36号までの3件であります。

ここで提案があります。

現在、行っているこの会議は、原則として公開であります。幾つかの事由に該当する場合は、その例外として会議を非公開とすることができることと決まっております。

今回の3件の議案のうち、議案第34号及び35号につきましては、輪島市教育委員会会議規則第14条第1項第4号の教育事務に関し、市長が作成する議会の議案に対しての意見の申し出に関するものに該当するものであります。したがって、この議案にかかわる部分につきましては、会議を非公開としたいと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

「異議なし」との声あり

委員長

それでは、議案第34号及び議案第35号にかかわる部分については、非公開の会議といたします。

職務代理者

まず、議案第34号 平成25年第2回輪島市議会定例会提出予定案件についてを議題とします。

この議案の内容は、補正予算議案です。

それでは、教育部長から説明をお願いします。

教育部長

それでは、今、ご報告のございました議案の第34号のうち補正予算に絡む分についての概要を説明させていただきます。

なお、今回、提案をいたします6月議会については、会期が6月11日か

ら6月25日までという会期予定となっております。

それでは、お手元の議案書の2ページ目をお開きください。別紙横版のものがついておるかなと思います。別紙で補正予算案と明記をしたタイトルの表でございます。

今回、6月の市議会に提案いたします補正予算案につきましては、教育委員会分といたしまして、総額7,202万7,000円というふうになっております。庶務課分としましては3,480万、それから学校教育課が2,890万、生涯学習課が30万、文化課が802万7,000円という内訳になっております。

主なものについて説明いたします。

まず、県立高等学校活性化支援事業費、300万でございます。

これは、諸報告の中で教育長が申し上げましたとおり、中高教育の向上に向けて、さらなる市内にございます公立高等学校の魅力を高めるということで、当初予算に207万、門前高校、輪島高校それぞれ100万、定時制が7万ということで予算化をしておりますが、これに加えて、さらに300万を増額するというものでございました。これから将来を担う若者が、地元にも帰ってきていただくためにも、やはり高校での教育が大事な位置を占めるだろうということから、スポーツはもちろんのこと学業においてもすばらしい高校生活を送っていただくための支援をしたいというふうに思っています。

それから次に、輪島中学校開校準備費でございます。

いよいよ明年4月に輪島中学校、3中学校を統合いたしまして開校することとなりました。これに伴いまして、係る予算といたしまして、校歌、校章等の作成、それから、仮校舎となります門前中学校の改修工事、伴います駐車場、駐輪場の整備費といたしまして、トータル3,080万を予算化するものでございます。

それから、輪島中学校建設基本構想費でございます。100万円の、今回、予算を計上いたしました。

統合がスタートしました後には、最終目的として、現在の松陵中学校に新校舎を建設するというところで、既に建設の中学校の場所についてはお認めいただいているところでございますが、この建設に向けて、基本設計の前段階といたしまして、新校舎の建設方針等を検討するというところで、

するよう求めたものでございます。

それから、学校教育課でございますが、いしかわ道徳教育推進事業といたしまして、本年は大屋小学校、東陽中学校ということで、児童生徒の発達段階に応じた道徳教育の推進を図る取り組みでございます。

それから、教育研究所移転事業費でございます。この後の35号議案の中でも、一部、教育研究所に係ります移転の住所の変更を、今回、お願いいたしておりますが、それに伴います改装費、改築費、改修が必要になってまいりますので、旧大屋保育所の施設を主に活用するというので、この改装に係る費用として1,020万円を計上するものでございます。

それから、情報教育推進事業費ということでございます。

ご存じのように、2014年4月で、いわゆるWindows XPのサポート期間が満了するということから、この対策を講じるために、後ほど出てまいりますけれども、小学校それから中学校におけるパソコンの本体の入れかえ、あるいはOSの入れかえを図るための費用ということで、小学校においては1,600万円、1つ飛んで、中学においては210万円を予算化するものでございます。

それから、ただいま、課題発見力育成事業費ということで、今回は、門前東小学校が対象校、推進校となっております。県下では、小学校では8校が指定されております。児童生徒が新たな課題を見出そうとする力を育成するという事業でございます。

それから次の3ページをお開きください。

生涯学習課でございますが、いしかわ元気ジュニア育成「歩育」推進プロジェクトということで、園児の歩行と育ちの調査というふうに書いてございますけれども、車社会が進展する中で、歩くことがだんだん減ってきているということから、子供の体力あるいは運動能力が低下しておることから、もう少し屋外も含めて歩くということに対する意識づけを高めるための行事を実施するというので、マリンタウンにおいて保育所合同の運動能力テスト、あるいは運動会といったものを実施したいというものでございます。

それから、次に文化課でございます。一般コミュニティ助成事業でございます。これは、輪島の子供たち、青少年による和太鼓が大変積極的に活

躍しておりますが、今回は輪島の高洲太鼓に対しまして、太鼓それから太鼓を設置する設置台等の購入に充てるため、宝くじ事業を活用いたしまして、250万円を予算化するものでございます。

それから有形文化財保存事業費でございます。

市の指定文化財となっております阿岸本誓寺でございます絹本着色親鸞聖人絵伝でございますが、この4幅の傷みが激しくなったということから、2分の1の補助ということで、市のほうから222万7,000円の補助をするものでございます。

最後に、歴史的風致維持向上推進等調査事業ということで、これは、間垣を核とした文化的景観保存地区の申請に備えまして、現在取り組んでおります西保、大沢地区を中心とした間垣の活用、あるいは間垣の材料の確保等に向けたいろいろと技術の継承、あるいは担い手に対するノウハウなどを保存するためのシステムを検討するというところで、これまで文化庁とは別枠で、今度は国土交通省の補助事業を受けて、今回、事業を行うものでございます。330万を予算化するものでございます。

以上、予算に関しましては、ただいま報告申し上げました内容となっております。

以上です。

委員長 説明が終わりましたが、議案第34号について、ご質問等はございません  
職務代理者 でしょうか。

それでは、学校教育課長さん、課題発見力というのがある、予算もついているんですけど、これ、もうちょっと具体的にどんなものか、ちょっと僕は新しい言葉でイメージができないんですけど、ちょっとご説明願えますでしょうか。

学校教育課長 この新規事業は、今年度、来年度、2年間を見据えた新規事業です。内容、目的ですけれども、子供たちに、授業から、自分が授業を終えたときに何を次に課題として見出していくか。つまり、終息型の授業から、今度はその授業を通して自分なりの課題を見つけて、どんどん学びをつなげて

広がっていくというような子供を育てていく、そういうことを目的とした新規事業です。

1年目としましては、先進校視察、講師等を招聘して、子供たちの力を育てる、もともとの教師の力を今年度は育てていくというところで、授業を通してどういうふうな授業をすることで子供たちが課題をより発見していくかということ、今年度は見つけていくという年となります。

以上です。

委員長 物の考え方としては、さして新しい考え方ではない、昔からこんなこと  
職務代理者 言われたこと、よくあります。特別に新しい考え方ということではないんですね。

学校教育課長 これの土台となるものは、いわゆる北歐のフィンランド型の授業という  
ところで、結局、子供たちは常に学んで入れたものを、じゃ、そこを使って、  
いわゆる活用型ですね、使って何を新しい学びを発見していくかという  
ところで、授業の中だけでなく、いわゆる生活に結びつくような学び  
となるようなものをしっかりと学校の授業の中で力をつけていく、そうい  
うようなものです。

教育長 次に何を学ぼうかということ、今の授業を終えた中で見つける、つな  
げる。

委員長 生活とかかわっていくというということですね。

職務代理者 ほかにございませんか。

石本委員 ことし、先進校が門前東小。これ、門前東小がことしと来年という考  
えですか。

逆に、講師招聘するときに、また、輪島市内の学校の先生も呼んでレベ  
ルアップさせるという考えでいる。

学校教育課長 これに関しましては、他校を呼ぶというようなものではなくて、校内の先生方に対する学びです。

というのは、つけ加えてよろしいでしょうか。

というのは、門前東小を選んだのは、ある程度基礎力がついた子供たち、そして指導力のある先生方というところを見据えて、門前東小を選んでいますので、そこのレベルに達する、まず、そこに達したところからスタートということであります。

以上です。

委員長 輪島中学の開校準備費が大きな予算組まれているんですけども、校歌  
職務代理者 とか校章については、各係、今ありますよね。それをイニシアティブとっ  
ていくんだろうと思うんだけど、ちなみに、東陽中学校のときの校歌と  
かそれから校章等は、どのぐらいかかっているんですか。

書記 簡単であれば。

校章については、前史雄さんに謝礼金10万で作成していただきました。  
校歌については、作詞と作曲とありまして、作詞については、中西進先  
生、作曲については新井満先生で、100万なんですけれども、内訳が中西先  
生は作詞で10万円、お支払いしています。新井先生にも10万円、謝礼とし  
てお支払いしています。ただし、新井先生については、謝礼金のほかに作  
曲に係る費用として、スタジオの借り上げ代とか、CDの作成代、それも  
ろもろ50万円かかりましたので、実費を謝礼の10万に加えてお支払いして  
います。それプラス、東陽中学校が開校した際に、記念講演会としてこち  
らに招待し講演をしていただきまして、その金がそれぞれ50万円払って  
います。

委員長 ほかにございませんか。

職務代理者

「ありません」との声あり

委員長            ないようですので、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょう  
職務代理者      か。

「はい」との声あり

委員長            では、議案第34号については、原案のとおり承認いたします。

職務代理者      次に、議案第35号 平成25年第2回輪島市議会定例会提出予定案件についてを議題とします。

この議案の内容は、条例の一部改正です。

それでは、学校教育課長から説明をお願いします。

学校教育課長    議案第35号 平成25年第2回輪島市議会定例会提出予定案件について説明いたします。

5ページ別紙をごらんください。

これは、輪島市教育研究所条例の一部を改正するものです。

第2条中に「河井町6部21番地5」を「堀町1字14番地」に改めるというものです。

提出事件書の資料1ページをお開きいただけるでしょうか。

現行では、輪島市教育研究所の住所は河井町6部21番地5ですが、輪島市教育研究所を旧大屋保育所内へ移転することに伴い、堀町1字14番地に位置が変更となります。

移転理由としましては、築39年、老朽化により、降雨の際、屋根、外壁から雨漏りがして、この雨漏りによる漏電、火災の発生の危険性が予想されます。また、今後、引き続き、長期にわたり使用することを考えますと、大規模改修が必要となるということで、大規模改修等の費用等から考えますと、大屋保育所へ移転し、改修したほうが、より望ましいというふうに考えまして、移転することになりました。それに伴い、住所も変更となった次第です。

以上です。

委員長 議案第35号について、ご質問等はありませんか。

職務代理者

「ありません」との声あり

委員長 ないようですので、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

職務代理者

「はい」との声あり

委員長 それでは、議案第35号については、原案のとおり承認いたします。

職務代理者 以上で、非公開の会議を終了いたしましたので、この後の会議は原則どおり公開とすることとします。

次に、議案第36号 輪島市女性センター条例施行規則の一部改正についてを議題とします。

生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長。

生涯学習課長 それでは、提出事件書の6ページをお開きください。

議案第36号 輪島市女性センター条例施行規則の一部改正について。

この改正内容につきましては、中段にあります条例第2条第1項第1号中「日曜日」を「月曜日」に改めるということで、提出事件書の資料の2ページをお開きください。

この部分につきましては、休館日についての規則でありまして、現行では毎週日曜日休館となっていたのを月曜日を休館とするという改正内容であります。

理由といたしましては、輪島市女性センターの建物の中に、体育施設条例で規定されている輪島市鳳至体育センターが同じ建物の中にあります。鳳至体育センターの休館日は、条例上、月曜日となっておって、女性センターのほうは日曜日となっており、それぞれの施設の利用状況を勘案した



ところ、月曜日に統一することが望ましいということで、この改正を提出いたしました。

以上です。

委員長 議案第36号について、ご質問等はありませんか。

職務代理者

「ありません」との声あり

委員長 ないようですので、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

職務代理者

「はい」との声あり

委員長 それでは、議案第36号については原案のとおり承認いたします。

職務代理者 以上で、議案の審議を終了し、次に移りたいと思います。

次は報告事項であります。

報告事項は3件あります。

まず、報告第16号 輪島市奨学生選考審査委員会の会議の開催についての報告を求めます。

学校教育課から説明をお願いします。

学校教育課長。

学校教育課長 1ページをお開き、お願いします。

報告第16号ということで、輪島市奨学生選考審査委員会の会議の開催についてということで説明を行います。

冒頭に教育長のほうから報告もありましたが、5月20日に奨学生の選考委員会が開かれました。この中で2ページをお開きください。

審査委員の名簿がございます。教育委員会委員長の小橋委員長、それから市職員として中山総務部総務課長さん、それから高等学校からは浦輪島

高等学校長、それから上杉門前高等学校長、中学校からは松陵中学校長が所用のため代理で池田教頭が参加されております。また、上野台中学校の校長先生は欠席となっております。学識経験者のほうは里谷商工会議所の会頭さんをご都合が悪く、代理で宮崎専務理事がいらっしゃいました。

それから、次の3ページをお開きください。

出願時選考状況としましては、教育長の申したとおりで、継続申し込み19名、新規申し込み6名で、計25名が申し込んでおりましたが、検討の結果、全員、奨学生として認められましたので、30名予定のうち25名ということで報告いたします。

以上です。

委員長 報告第16号についてご質問等はございませんでしょうか。

職務代理者

「ありません」との声あり

委員長 ないようですので、次に、報告第17号 輪島市男女共同参画推進審議会の会議の開催について報告を求めます。

職務代理者

生涯学習課から説明をお願いします。

生涯学習課 では17号の報告の前に、済みません、訂正がございます。

参事

3番の議題、最初の委員長、副委員長の選任についてと記載されておりますが、申しわけありません、これは会長、副会長の選任の誤りでありますので、訂正をお願いいたします。委員長は会長で、副委員長は副会長が正しい記載になります。よろしくをお願いいたします。

4ページ目の3番目の議題が、申しわけありません。

それでは、報告第17号 男女共同参画推進審議会の会議について報告いたします。

開催は、5月13日月曜日、午後1時30分、文化会館401号室で行われました。

では、次の5ページをごらんください。

男女共同参画推進審議会委員名簿になっております。

平成25年4月1日から27年3月31日までの2年間の任期になっております。会長に、学識経験者の谷内家次守さん、副会長に、石川県男女共同参画推進委員の新甫真智子さん、お二人にお願いしました。そして委員に、学識経験者の山崎美和子さん、輪島市校長会会長の村元悟さん、輪島市商工会議所事務局長の吉森公昭さん、社会教育委員の角捷子さん、輪島市PTA連合会の宮中美花さん、輪島市公民館連合会の北川達雄さん、輪島市各種女性団体連絡会の宮地美也子さん、石川県男女共同参画推進委員の塩土修さん、石川県男女共同参画推進委員の藤井敏夫さん、石川県男女共同参画推進委員の澤田弘子さん、以上12名の方々に委嘱されました。

また4ページに戻っていただきまして、会議の最初に、この審議員の役割についてご説明させていただきました。

この審議委員会というのは男女共同参画の推進のための計画について審議していただいて、その施策の実施状況についても調査・審議する役割を持っている審議会でございます。

そして、会議では、平成24年度の実施事業報告、そして25年度の実施事業計画案について説明させていただきました。また、そのほかに、輪島市男女共同参画推進員の設置に関する要綱案についてご説明させていただきました。

先ほど説明いたしました審議員は、この男女共同参画の実施状況について調査・審議するものでありますが、推進員は実際に男女共同参画推進事業の活動する方々でございます。今までは、推進員の要綱がなかったもので、審議員と推進員の境目がなくて、業務も重なっているために、新しい新たな推進員の方が入りづらい状況でありました。このため、新たな枠をつくって、担任を求めるものでございます。

そして、その審議員の方々にも、新しく推進員のほうに加入していただくようお願いしたいと思っております。

また、6月の市の広報のほうにも、この推進員の公募について記載させていただきました。そして、市のホームページのほうにも、ちょっとおくれますが、また記載したいと思っております。

以上です。

委員長 報告第17号について、ご質問等はありませんか。

職務代理者

「ありません」との声あり

委員長 ないようですので、次に報告第18号 輪島市図書館協議会の会議の開催  
職務代理者 について、報告を求めます。

市立図書館から説明をお願いします。

市立図書館長 6ページをごらんください。

報告第18号 輪島市図書館協議会の会議の開催についてご報告いたします。

開催日時は平成25年5月23日、木曜日、午後1時30分から10名の委員さんの出席をいただき、図書館集会室で開催いたしました。

議件といたしまして、会長、副会長の選出ですが、7ページをごらんください。

輪島市図書館協議会委員の方の名簿になっております。

その中で、会長を徳野喜一郎委員、副会長を北間美登里委員に選出いたしました。任期は2年になっております。

そして、図書館の概要と平成24年度の事業報告についてですが、図書館の概要で個人貸し出しについて、他館と比較しやすい数値の表示の工夫を工夫してはどうかとご意見をいただきました。そのほか、新図書館建設に向けて、協力会を開催するなど、図書館協議会と図書館友の会が連携してはどうかという意見と、あと、世界農業遺産関係の資料の展示は、市民が、能登の里山・里海がどうして世界農業遺産に選ばれたかを理解する上でも有効で、継続的に展示してほしいという意見がありました。

今後もその資料の展示・収集に努めていきたいと思っております。

以上で、ご報告を終わります。

委員長 報告第18号について、ご質問等はありませんか。

職務代理者 沢田委員。

沢田委員 18号ではなく、戻ってよろしいですよ。

委員長 はい、いいですよ。

職務代理者

沢田委員 第16号の奨学生の話なんですが、実はこの間、高校のほうに聞きましたら、生徒があるというのを説明はされていたんですけども、ちょっと市のほうが出るのが遅いらしいんです。どうしても、国とかそういうものに比べて、結局お金が出るのが7月か8月ごろになってしまうので、一番お金の欲しいときにちょっと当たらないようなニュアンスでお話しを、係の方がされていたので、もし、できるようで早くできるようならば、そういう方向に持って行っていただければ、せっかく奨学金受ける人もいいかなと思いましたが、遅いからほかのを借りたほうがいいのかみたいには、ちょっとそういうふうにもとれたので、それはちょっとせっかく市が出されているので、これだけの方がもらっているのですから、できれば少し時期、いい方法で、もうちょっと早く出るようになればいいかなと思いますが、それはどこで決めていただくのかわかりませんが。

委員長 どうですか。

職務代理者 学校教育課長。

学校教育課長 そうしましたら、また、これを持ち帰りまして、ちょっと検討させていただき、そこら辺が可能なのかどうなのかというのを踏まえて、また、という形でよろしいでしょうか。

委員長 それでよろしいですか。

職務代理者

沢田委員           はい。

委員長             では、よろしく申し上げます。

職務代理者         それでは、その他の各課報告に入ります。

各課からの報告として、庶務課関係から始めますが、全部の課の説明が  
終わってから質疑に入りたいと思います。

それでは、庶務課関係について説明をお願いします。

教育部長兼庶務課長。

教育部長兼         それでは、その他報告の説明をします。

庶務課長           資料の2ページ目をお開きいただきたいと思います。

6月の行事予定でございますが、前回のこの定例会でもご提案させてい  
ただきましたが、能登空港を活用しての首都圏方面への行政視察の実施と  
いうことで、今般、この視察について調整をいたしました結果、6月9日  
及び10日、日、月なんです、この両日で決定させていただきたいという  
ふうに思っておりますので、ご参加のほう、よろしく願いいたします。

その後、先ほど申しましたように、6月11日から市議会の定例会が25日  
まで開催される予定となっております。

なお、次回の教育委員会定例会につきましては、6月28日、午後からの  
開催ということで、後ほど、またご審議をいただければというふうに思っ  
ております。

それから、次の3ページ目をお開きいただきたいと思います。

先ほど申し上げましたが、横浜鶴見区への訪問日程の案ということで、  
こちらに記載させていただいております。なお、主には、横浜市教育委員  
会並びに鶴見区役所を訪問いたしまして、今後の両市の教育面での交流に  
ついて、双方、協議してまいりたいというふうに思っておるところでござ  
いますので、よろしく願いいたします。

それから、5ページ目につきましては、5月定例市議会の会期日程の予  
定表となっております。

以上でございます。

委員長 次に、生涯学習課関係について説明をお願いします。

職務代理者 学校教育課、失礼しました。

学校教育課、お願いします。

学校教育課長 行事予定、7ページをお開きいただきたいと思います。

6月行事予定ということで見ていただくと、計画訪問が6月の初旬から入っているかと思えます。

市教委といたしましては、午前中、学校のほうに行かせていただくというふうに思っております。

6月3日、県の巡回教育相談がございます。それから、6月5日、校長会が9時半よりあります。

それから、6月9日、10日については、先ほど庶務課のほうからお話しありましたので、割愛させていただきます。

6月15日、土曜日、6月16日、日曜日と総合体育大会が県体育予選ということで、県体予選であります。

それから、6月18日が教頭会、9時半より行われます。また、22日、23日、土日は教職員の健康診断が入っております。

6月27日、木曜日には、特別支援コーディネーター研修会が輪島分校で行われます。

それから6月29日、土曜日、6月30日、日曜日には、県の中学校陸上競技大会があります。

以上です。

委員長 次に、生涯学習課関係についてお願いします。

職務代理者

生涯学習課長 11ページをお開きください。

6月1日、輪島市民まつりで、子ども笹ギリコ行列とあります。

6月8日が、チビッコオリンピックと小学生の陸上大会があります。

6月10日から14日まで、PFUブルーキャッツがことしも強化合宿に訪れます。

6月16日は、石川県ジュニアトランポリン選手権大会がサンアリーナでございます。

6月20日、男女共同参画説明会ということで、宿泊体験合宿が南志見公民館で行われます。

6月22日、スポーツ少年団のバスケットの交流大会がございます。

お配りした別紙のほうは、今年度の公民館の体験合宿の実施予定となっております。一番早いのは、3番の河原田公民館がきょうから行われます。その次が西保ですか、5番の西保と、順次行っていきます。今のところ、男女共同参画の紙芝居であったりDVDのほうは、南志見だけの申し込みですが、ほかの公民館についても、こちらから啓発して説明会をやっていきたいと思っております。

生涯学習課は以上です。

市立図書館については館長が報告いたします。

委員長 館長さん。

職務代理者

市立図書館長 6月の行事予定をお知らせいたします。

13日は、よちよちさんのおはなし会、15日は、バッテリー会のおはなし会、16日は読書会で、テキストは重松清著の青い鳥です。

18日は図書館招待として、河井小学校1年生42人の子供たちがいらっしやいます。

20日はファーストブックおはなし会が、ふれあい健康センターであります。

図書館招待として、25日に鶴巣保育所、28日にわじまミドリ保育園、追加行事として26日に、鳳来保育所の子供たちがいらっしやいます。

以上です。

委員長 それでは次に、門前図書館長、お願いします。



職務代理者

市立門前図書館 引き続きまして、門前図書館の6月の行事予定でございます。

館長 6月12日、0. 1. 2のおはなし会、6月20日、古典を楽しむ会、それから6月、済みません、これ、1行ずれています、6月23日の日曜日、にじ色おはなし会、23日から例年の雑誌のリサイクルを30日、日曜日まで行います。  
以上です。

委員長 次に、文化課関係について説明をお願いします。

職務代理者 文化課長。

文化課長 文化課の6月の行事予定ですけれども、5月30日から輪島市美術展が始まります。この美術展については、後ほど次ページ以降の事業計画で詳しくご説明いたします。

6月1日に、能登吹奏楽連盟の合同演奏会が大ホールで開かれます。

同じく1日に輪島いけばな協会の花展がホワイエのほうで開かれます。

6月2日には、輪島市民まつり演奏会が大ホールで行われます。

6月9日ですけれども、NHKラジオの公開収録が来まして、石川県朗読広場IN輪島が開催されます。これは小ホールのほうで行います。

6月20日になりますけれども、石川県高等学校文化連盟文化教室が大ホールで行われます。これは、ドラムパフォーマンスを行うというふう聞いております。

漆芸美術館につきましては、後ほど、事務局長のほうから説明がござい  
ます。

門前文化村ですけれども、陶芸教室、きりえ教室、ミニ鉢植教室、草木染教室等が、毎月同じような形で開催されています。

6月26日に、鳳染家草木染作品展が6月30日まで開催されます。

6月27日には、竹籠体験教室が、これは年1回行っているものですが、これも、これが行われます。

続きまして、櫛比の庄、禅の里交流館でございます。

6月1日から7月31日まで、染色くらぶ加賀友禅染額展というのが行われます。

それから6月22日になりますが、これは旧の酒井邸の蔵で行われるわけですが、禅の里・蔵コンサートとしてERIKAFォークライブが行われます。

次に16ページのほうをごらんください。

第47回輪島市美術展事業計画でございます。

会期は、本年度は輪島展と、それから門前巡回展が行われます。会期は、輪島展のほうは5月30日から6月3日までの5日間、門前巡回展が6月7日から9日までの3日間となります。

輪島展については、例年どおり輪島市文化会館の2階展示室、3階の301会議室、小ホールですけれども、と、302会議室で行われます。

門前巡回展については、門前会館の3階ホールで行われます。

作品の公募についてですけれども、内容については例年どおりということですが、本年度、出品されましたのが、工芸については55点、絵画・彫刻については38点、書道については40点、写真については45点、出品数の合計として178点が出品されております。

次、17ページをごらんください。

表彰は例年どおり各賞を送ります。

それと、「あなたが選ぶ賞」というのが賞としてあるわけですが、これについては、応募期間を5月30日から6月2日間としており、各部門1点ずつの記入をお願いして、各部門ごとに贈ることとなっております。

作品の解説についてですけれども、6月1日、午後2時から、書道の木下信子さん、午後3時から、絵画、小田原毅さん、6月2日には、午後2時から工芸のほうで山岸一男さんと前田安孝さん、午後3時から写真の宮坂雅之さんにそれぞれ行っていただくことになっております。

次に18ページのほうをごらんください。

美術展の日程表になります。

昨日、27日、作品の審査のほうを行っております。

30日は、午前9時から開場式を正面玄関のところで行います。

展覧会については、30日の9時から3日まで行っておりまして、3日の14時から表彰式を5階の商工会議所大会議室のほうで行います。

続きまして、19ページのほうをお開きいただきます。

こちらは、門前展のほうになりますが、門前展については、7日金曜日の午前9時に開場式を行い、9日まで展覧会を行います。

以上です。

委員長 次は、漆芸美術館事務局長、お願いします。

職務代理者

輪島漆芸美術館 15ページをお開きください。

事務局長 漆芸美術館は、この6月1日とありますが、5月31日から新たな展示をおこなっております。漆芸の未来を拓く生新の時2013ということで、これは全国7大学の学生さんの作品を展示するものでございまして、7月13日まで開催しております。

同じく5月31日からは、宮下和子、この方は友の会の会長でございます、様の写真展、そして同じく5月31日から6月9日までの予定で、世界のミニカー大集合ということで、工芸品であります外国製のミニカー約200台をエントランスで展示する予定としております。

こちらにつきましては、また後ほど、チラシもありますので、説明させていただきます。

そして、漆芸の未来を生新のとき2013におきましては、6月8日の土曜日の日に、まず、ギャラリートークということで、これはそれぞれの作品をつくった学生さんが自分の作品を目の前にして、こういうところでつくりました、こういうような意味合いを持っていますということを、皆さんに紹介するというところでございまして、その後、引き続き、シンポジウムということで、それぞれの意見を交換する場でございます。このシンポジウムには吉岡教育長に出席していただき、ご挨拶していただく予定としております。

続きまして、6月15日は、これ、貸し館なのですが、クラシックコンサート、6月18日には財団法人輪島漆芸美術館の平時の評議員会を予定して

おります。そして6月30日には、体験型講座ということで、デザートカップ&トレイに拭漆という教室を予定しております。

続きまして、20ページをお開きくださいませ。

こちらは、今年度のゴールデンウィーク、4月27日から6日までの入館者数の内訳でございます。上と下に表が分かれてございますが、下のほうは24年ということで、昨年度の表を記載してございます。

見ていただきたいのは、それぞれの表の左から3行目、入館者数でございます。25年度は入館者数が1,277、下のほうの行を見ていただきますと、24年は1,454ということで、実は昨年と比べまして、マイナス177人という状況になっております。これは、24年の表をいただきますと、4月27日に、備考の欄で河井小学校46人、松陵中学校から76人、そして5月2日の備考の欄には七尾市の徳田小学校101人とございます。この子供たちが遠足を兼ねて来ておりましたもので、この子供たちが223名であると。この223名分を、もし昨年度来なかったと想定するならば、実は昨年は1,231人であったと。1,231人であるから、そちらと比較しますと、実は100.4%の増となっております。

このことから、一つ私ども教訓にしないといけないのは、やはり学校の子供さんに遠足とかの際にはうちを使ってくださいねということの広告が本年度はならなかったから、ここら辺を、県内すべての小中学校に対しまして、ダイレクトメールで、遠足とか修学旅行の際にはぜひ県内の地元の伝統文化の学習ということで美術館をお選びくださいということで、今、そういうような調整をしているところであります。

そして、もう一つ、この表にはないんですけども、25年度のゴールデンウィークのとき、外れて12日の日に、ふじ丸の入港がございました。ふじ丸の入港時には、147名の入館者数のうち42名の方がふじ丸のお客さんとして来られていました。

それと、このゴールデンウィーク中なのですけれども、25の備考欄にあります。おもてなし企画ということで、呂色組合、沈金組合、蒔絵組合さんの方々の協力を得まして、実演体験ということでしておりますことが、非常に好評であるということをおし添えておきたいと思っております。

次の21ページです。

これは毎月の入館者数でございます。

4月は1,754人、24年度の1,662人に対しまして92人増の5.5%増になっております。

5月は、22日までのものですが、本年度は2,172人、前年度は1,607人ということで、565名の増で、135.1%となっております。

ただし、これ一つ言わなくてはならないことがありまして、実は今、ちょうど、展示がえのために休館を4日間しております。ところが、それが昨年度は15日から18日に休館ありましたものですから、昨年度のほうが若干少なく、本当に少なく数字が出ておるものですから、5月末になると、さらに5%増ということではなくて、また少しこの率が下がるかなと思うんですけれども、ところが1日平均、大体70人と計算するならば、四七、二十八の280人減とするならば560人おっても、280人減しても、まだ、かなり前年度よりもプラスの数字が、200名ほどプラスの数字で5月は終わるのかなと、ちょっと希望的なものですけれども、考えておるところであります。

続きまして、1枚めくっていただきまして、22ページでございます。横書きになっております。

6月1日、2日は、輪島市民まつりにあわせて特別無料開放ということで、宮下和子さんの写真展と、そして世界のミニカー大集合ということで、チラシをそれぞれ合わせたものでございます。

こういった、これからは、漆器関係の展示だけではなくて、いろいろ市民が利用しやすいような形で美術館を使ってもらおうということが、まだこれから、公的施設の有効利用という原点を強化していきたいなということで、こういう写真展であるとかミニカー展というものをますます充実させていきたいなと考えております。

1枚おめくりいただきまして、23ページになります。

これは、体験型講座ということで、デザートカップ&トレイ、ここに拭漆ということで、それぞれ体験型の講座なのですけれども、これが実は定員20名に対して、すぐ殺到いたしまして、もう既に申し込みは終わっておりますので、25名に定員を増員したんですけれども、まだ続々と来ておりま

すので、こういう体験型に対して市民は非常に興味を持っておるなどという  
ことで、またこういった講座もできればどどんふやして行っていきたい  
など考えております。

それと最後になりますが、別紙なのですが、このもう一つのわんじまく  
んの。

先ほど、教育長のほうからもお話ありましたが、このわんじまくんとい  
うものを、これから美術館のいろいろな印刷物に利用していきたいと思っ  
ております。それと、美術館は非常に、こう、やはり敷居が高いというよ  
うなイメージがありますものですから、ファミリーの方とか子供さんにぜ  
ひ来ていただきたいということで、1枚おめくりいただきまして、実は最  
近、ゆるキャラブームなのですけれども、ゴールデンウィーク中に私ども  
の学芸員が手づくりで、このゆるキャラをつくりました。

そのお披露目会を先週の24日の理事会の前の15分館、梶理事長、そして  
吉岡教育長、常務理事にお越しいただきまして、ミドリ保育園の子どもた  
ちとセレモニーを、披露セレモニーを開催いたしました。この様子という  
のは、非常にマスコミさんとかにも興味持たれて、新聞紙上ですとか、ま  
た県内のテレビニュースにもその部分が放映されております。

これからは、こういうゆるキャラを使ってどどん輪島漆芸美術館とい  
う名前を広げたいと思いますし、また、有用な、ゆるキャラおるというだ  
けではなくて、ゆるキャラを使って、みんなで何人で取り囲めるかなど  
か、頭の上に物投げて入ったら縁起がいいよみたいな、そういうような、  
ただおるということだけでなく、行動でアクションを起こして親しんで  
もらいたいと、ゆるキャラに囲みにいこうみたいな、そういうような形で  
子供が親にせがむみたいな、そういうような、できれば形でいろいろな取  
り組みをしていきたいなと思っています。

もう一枚、ちょっと長くなって済みません。もう一枚めくっていただき  
ますと、これまで漆芸美術館のお土産物というのは、漆器関係のものし  
か、ばかりしかなかったんです。やはり、来た人はそれでいいんですけれ  
ども、その方が子供さんとか孫に何かお土産買っていこうかなというとき  
に何もなかったものですから、こういうお土産品を美術館のミュージアム

にそろえることによって、さらに来ていただいたお客様には、帰るときに、  
こういうお土産も買えたねということで満足していただけるかなと思います。

きょうは、サンプル、これ実際のTシャツなんですけれども、こういう  
Tシャツを今、プリントして、これ、前の面です。後ろにもワンポイント  
で、こういうTシャツをつくりまして販売したところ、非常に好評なの  
で、またたくさんつくりたいと思いますし、また、教育委員会の皆さん、  
このバッジを、これ終わりましたら、お渡ししたいと思いますので、こ  
れ、試作で、売ってはいないんですけれども、また、よろしかったら、ま  
たお使いいただいたり、配っていただきたいということで。

これまた終わったらお配りしますので、よろしく願いいたします。  
以上です。

委員長 以上で説明が終わりましたが、質問、意見等はございませんか。あり  
職務代理者

「ありません」との声あり

委員長 それでは、そのほかに報告事項等はございませんか。  
職務代理者 学校教育課長。

学校教育課長 済みません。先ほど、学校教育課のほうから、1点、ちょっと報告をし  
忘れたので失礼いたしました。

8ページのほう、報告いたしたいと思います。

中学校の開校準備委員会ということで、第1回が8日に行われたという  
報告があったかと思うんですが、このときのメンバーです。今年度、委員  
長を、昨年に引き続き川端俊樹さん、副委員長を大家志夫さんということ  
で、委員長、副委員長は昨年どおり、そして、4つの準備委員会というこ  
とです。各学校より参加希望者を募り、それぞれの準備委員会も希望どお  
り振り分けました。中身によっては、昨年度と同様な方が複数おります。

ということで、ご報告がおくれました。

それから、引き続き、お願いいたします。

先ほど、沢田委員さんからご質問があった育英資金の奨学生の件です。例年、3月に広報をいたしております。そして、申し込み期間として4月1日より4月30日、一月を申し込み期間及び提出期間としてやっております。これはどういうことかと申しますと、このときに必要な、査定するに必要なものとして、奨学生の願書及び成績証明書、昨年度の成績証明書、これは3月終わって4月にならないと発行されるものではないんです。

それからまた、在学証明書、これは進級後の4月1日以降のものということで、これも4月に入らないと出てこないものです。

ということを経みると、どうしても5月に審査が開催ということになり、そこで承認された後、支払い日は6月ということになります。

中身については生活費ということなので、まとまったお金としては出てこないということをご了解いただければというふうに思っております。

沢田委員           でも、ほかのものも5月か6月には支給されるらしいんですけども。この市の場合は7月か8月という、そのたった2カ月ぐらいなんですけれど、その分がちょっと遅いので、もう少しという。

学校教育課長       経年の支払いの調査ですけれども、22年度は6月25日、それから23年度は6月27日、それから24年度は6月29日、そして今年度は、急ぎ6月14日ということで、例年より早くなっておりますので、できるだけ、そういう、進んでおりますので、お願いいたします。

委員長             ありがとうございました。

職務代理人

教育部長           先月の定例会でも、来月提案をしたいということで申しあげましたけれども、夏のクールビズについて、ご提案とご承認をお願いしたいと思っております。

市の本庁のほうでは、5月1日から10月いっぱいまで、既にクールビズ



ということで実施をいたしています。国も同様の対応をとっておりますが、教育委員会といたしましては、6月1日よりクールビズ対応ということで、夏の軽装に実施をしたいというふうに思っておりますので、今後の定例会を含めて通常の執務等についても同様の扱いをしてまいりたいと思っておりますので、ぜひ、よろしく願いいたします。

委員長                    その他で、私一つ。

職務代理者            教育部長の最初の諸報告のところで、学校司書補の重要性とか、そういうものを述べられました。私もそう思います。私、いつもの例年の夏の学校訪問のときに、なかなか司書補の人がいないんですね。僕の経験ではなかなか会ったことがないというか。

例えば、かけ持ちの方もいらっしゃるので、本部のところで、ちょうど私たちの訪問日と一緒に、出勤じゃないのか、夏休みは。あ、そうか。

何かね、僕たちも頑張るとなと訴えたいという部分もあるし、それから、あの人たちも、こういうところで頑張るとりというようなこともあるし、一度、何かそういう機会があれば、訪問のときに資料等をつくって準備してくだされば、なおわかりやすい。

教育長。

教育長                    榎木委員のおっしゃられたこと、ごもっともでありまして、せっかく、顔を知らない、一体どういうことを、その学校学校でやっているのかということでもありますので、どこかの学校の中で、7人おるわけですから、そういうことで、何とか委員さんと顔合わせできるようにして、質問等受けられるように。2校かけ持ちの人は2校についてのいろいろな資料とか持っていていらっしゃいます。顔合わせについてはお約束します。

委員長                    できる範囲の中で、ひとつよろしく願いいたします。

職務代理者            ほかにございませんね。

それでは、最後に次の委員会の日程を決めたいと思います。

先ほど、教育部長から説明がありましたとおり、次回の定例委員会は、

6月定例委員会は6月28日、金曜日、午後1時半ということによろしいでしょうか。

「はい」との声あり

委員長            それでは、次回の定例委員会は6月28日、金曜日、午後1時半から行う  
職務代理者        ことといたします。

以上で、今回の議事がすべて終了しました。

本日の会議は、これをもって閉会いたします。

大変ご苦勞さまでございました。